

急激な施設整備費の高騰を踏まえた 「町田市新たな学校づくり推進計画」の一部修正の検討について

1 背景

2021年5月に「新たな学校づくり推進計画（以下、計画）」を策定して以降、急激な施設整備費の高騰、労働時間の規制強化による工期の延長といった社会環境の変化が起きています。

このことから、市の財政状況を踏まえ、各地区の統合・建替えが計画で示した時期のとおり取り組むことができるか検討する必要があります。

【参考】2021年度から2055年度までの建替え・改修費用の教育委員会による試算結果

計画策定当初	→	現在
約2,540億円		約4,400億円

2 検討方法

計画で示した施設整備時期における整備費を再試算します。あわせて、町田市立学校の児童・生徒数推計や、築40年以上経過した学校を対象とした施設の老朽化調査を実施します。そのうえで、「町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」に基づき検討します。

検討結果については、2025年3月の公表を予定しています。

3 対象地区

2024年度以降に基本計画の検討に着手する第2期以降の地区※を対象とします。

2024・2025年度に基本計画の検討に着手することとしている地区については、基本計画検討会及び意見交換会の開催を「延期」します。

なお、現在基本計画に基づき統合・建替えを進めている第1期 本町田地区等の5地区（本町田・南成瀬・鶴川東・鶴川西・南第一小地区）については、計画通り進めます。

※第2期以降の地区

期	地区
第2期 小山田地区等	<u>基本計画着手年度が2024～2029年度までの地区</u> 【小学校8地区】小山田・小山田南小、忠生・山崎・図師小、 町田第二小、山崎・七国山小、南第三・南第四小 町田第六・高ヶ坂・南大谷小、町田第四小、町田第五小 【中学校3地区】薬師・金井中、町田第三・山崎中、南成瀬中
第3期 鶴川地区等	<u>基本計画着手年度が2030年度以降の地区</u> 【小学校7地区】鶴川第一・大蔵小、つくし野・南つくし野小 忠生第三・木曽境川、町田第一小、成瀬台・成瀬中央小 藤の台・金井小、相原・小中一貫ゆくのき学園（大戸小） 【中学校4地区】鶴川第二・真光寺、南、忠生・小山田 堺・小中一貫ゆくのき学園（武蔵岡中）

4 南中学校に建設する仮校舎の仕様変更について

今回の一部修正の検討に伴い、建て替え時期の柔軟な検討ができるように、南中学校に建設する仮校舎を当初予定していた南第一小学校、南第四小学校、南中学校の3校で使用する仕様から、南第一小学校と南第四小学校の2校分の建て替えで使用する仕様に変更し、その後は解体することとしました。

なお、南中学校の建て替えの際には既存の体育館が使用できることから仮校舎の建設が必要なく、その時のクラス数等に応じた適切な規模の仮校舎を建設します。

詳細は別紙を用いて、施設課からご説明します。

